



あいちの会 NEWS



第42号

発行責任者/北折健次郎 編集/あいちの会NEWS編集委員会

認定NPO法人 あいち骨髓バンクを支援する会 〒464-0006 名古屋市千種区光ヶ丘1-22-7-105

[電話&FAX] 052(712)0457 [E-mail] npoaiichi@tj9.so-net.ne.jp [HP] <https://www.aichinokai.or.jp/>

治療と仕事の両立について（両立支援コーディネーターについて）

あいちの会では、1987年の名古屋骨髓献血希望者を募る会発足以来、患者さんや患者さんのご家族の相談業務も行ってきました。その中で、一家の大黒柱である人が発病したために休職し、その後退職するというケースを多く見てきました。当時はまだ今のように出来るだけ外来での治療ではなく、抗がん剤はほとんど入院して行われており、特に血液疾患患者では1年くらいの入院は当たり前、移植を受けたら、復職は最低でも1年後ということもありました。また働いている職場によって休職や復職の制度が異なり、ほとんど辞職に追い込まれるようなケースもあれば、ある程度優遇されているケースもありました。

今では、入院期間も比較的短くなり、外来での抗がん剤治療が行われています。また職場復帰の期間も比較的短くなりましたが、職場での休職の期間やあり方、本人の復職のタイミングなど職場により異なっており、特に中小企業ではその決まりすら十分に従業員に周知されていない（もしくは決まりがない）ケースもあり、また患者さんも、職場に遠慮して入院が長引くと退職を選択してしまうケースも聞き及びます。また、治療が終了して復職が叶っても、体力的に十分な回復が得られずに健常人と同様の仕事の遂行が不可能であったり、また血液疾患患者さんの免疫不全状態ではちょっとした風邪でもすぐにこじらせて肺炎を併発しやすく、入退院を繰り返すことで不当なパワハラにあっているケースもありました。外見は健常者と全く変わらない為、怠けていると陰口（最終的には本人の耳に入ってくる）を言われたり、病院受診で頻繁の有給休暇取得することで、有給が取れない人から嫌味を言われたり等、多くの患者さんは病気が治ってからも様々な制約の中で生活しています。最終的にその職場に居られなくなり、相談を受けたほとんどの方が退職してしまいました。今まで、そのような場合、あいちの会では事務局員として働いていただき、体力の回復を図りながら生活の支援（といっても微々たるものですが…）を行っています。その間に患者さんは新たな資格（産業カウンセラー、キャリアカウンセラー、社会福祉士等）を取得して、次へのステップへの足掛かりとしてきました。それは両立支援というよりは、就労支援に当たります。本来であれば仕事を辞めてしまう前にきちんと患者さんと職場（医療者）とが語り合い、お互いの着地点を見出すことが大切ではないかと思います。

しかし、実際は、主治医（医療者）にとって自分の患者がどのような仕事をどのような立場で行っており、収入や家族背景等も正確には把握出来ていないという現状もあり、特に細分化されてしまっている現在では、医者は自分の受け持つ臓器と検査結果しか見ていないとも言われてきました。（今は少しずつ変わってきていると思いますが…）また企業は従業員を「戦力」としか見ておらず、「役に立たない」→「必要ない」との判断もされてしまっています。（これも最近のテレワークの普及により、入院中も在宅静養中でも通常の仕事出来る場合も出てきましたが、技術の伴う職人ではまだその傾向はあるのかも知れません。）

今まで、多くの患者さん、患者さんご家族の相談を受けてきましたが、患者さんが事業所や医療者との連携をよりよくするために、独立行政法人 労働者健康安全機構が行っている「両立支援コーディネーター」の講習会を北折と事務局長の水谷久美が受講しました。両立支援コーディネーターとは、労働者（患者）やその家族からの依頼を受けて労働者（患者）に寄り添いながら相談支援を実施し、また、労働者（患者）、主治医、企業・産業医のコミュニケーションのサポートを行う者で、病気にかかった労働者（患者）がスムーズに職場復帰（復職）出来るように、または、仕事を理由として治療を中断することなく継続治療できるように、医療機関に受診を始めた早期の段階から対象者の依頼を受けて介入する職種（『両立支援コーディネーターマニュアル』独立行政法人労働者健康安全機構から）です。私自身、医師として、企業人として、また患者側（ボランティア相談員）として多くの立場を経験してきたと思っていましたが、患者さん一人一人全て背景も異なり、経験や様々なケースの情報共有や横のネットワークの必要性を感じました。

事業所のみならず医療者側、サポーター側も含めて、一人でも多くの人に受講していただきたいと思います。今年度もまだ第8回、第9回と募集があります。

理事長 北折健次郎



両立支援コーディネーターの講演会については右記URLから <https://www.johas.go.jp/>

活動報告

2021年7月~2021年11月

ドナー登録会報告

2021年7月~2021年11月

普及啓発活動		
10/16	【なごやNPO応援事業】NPO漫遊の旅動画撮影	名古屋市市民活動推進センター
11/27	【なごやNPO応援事業】リレーマラソン	庄内緑地公園
講演会・勉強会等		
7 / 9	NSM「骨髄移植推進キャンペーンミュージカル」決起集会・講演	アートピアホール
7 / 22	語りべ	第一生命保険(株)中京総合支社新野並営業オフィス
8 / 3	語りべ	第一生命保険(株)中京総合支社新野並営業オフィス
8 / 22	「なごやNPOフォトエッセイコンテスト」セミナー	あいちの会事務所(ウェブ開催)
8 / 24	語りべ	第一生命保険(株)中京総合支社新野並営業オフィス
8 / 26	説明会・語りべ	西尾市立看護専門学校
9/1~9/3	第2回 両立支援コーディネーター基礎研修	あいちの会事務所(ウェブ開催)
9 / 3	「なごやNPO共感獲得セミナー ~伝わる思い・広がる共感~」	あいちの会事務所(ウェブ開催)
9 / 3	名古屋BMTグループ2021年度年次総会学術講演会	あいちの会事務所(ウェブ開催)
9 / 15	語りべ	第一生命保険(株)名古屋東支社
9 / 17	第2回 両立支援コーディネーター基礎研修	あいちの会事務所(ウェブ開催)
11/12	語りべ	公立西知多看護専門学校
11/18	語りべ	ブルデンシャル生命保険(株)名古屋第6支社
会議・打合せ		
7 / 1	語りべ打合せ	第一生命保険(株)中京総合支社新野並営業オフィス
7 / 2	なごやNPO応援事業 公募説明会	あいちの会事務所(ウェブ開催)
7 / 31	なごやNPO応援事業 参加団体説明会	あいちの会事務所(ウェブ開催)
8 / 3	「はらマッパ!なごや2021」説明会	愛知大学 名古屋キャンパス
11 / 8	中日新聞取材	あいちの会事務所
贈呈式		
11 / 2	2021中部ウォークソン寄付金目録贈呈式	名古屋国際学園

実施日	実施場所	登録者数
7 / 5 (月)	新城市役所	0
7 / 5 (月)	小島プレス本社	1
7 / 12 (月)	小島プレス高岡工場	0
8 / 4 (木)	愛知県庁西庁舎(夏季官庁街献血)	1
8 / 5 (木)	愛知県庁西庁舎(夏季官庁街献血)	1
8 / 6 (金)	愛知県庁西庁舎(夏季官庁街献血)	0
8 / 12 (木)	豊川市役所	1
8 / 12 (木)	岡崎市役所西庁舎1階ロビー	3
8 / 22 (日)	名古屋水族館JETTY前広場(学生サマー献血キャンペーン)	0
8 / 25 (水)	ザ・グランドティアラ一宮	4
8 / 26 (木)	西尾市立看護専門学校	11
9 / 11 (土)	MEGAドン・キホーテUNY大口店	2
10 / 3 (日)	イオンモール大高店	5
10 / 5 (火)	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院	0
10 / 10 (日)	イオンモール名古屋茶屋店	7
10 / 16 (土)	イオンモール大高店	2
10 / 21 (木)	新城市役所	0
10 / 23 (土)	一宮市尾西庁舎	4
10 / 24 (日)	一宮市尾西庁舎	1
11 / 12 (金)	瀬戸市役所	5
11 / 19 (金)	豊明市役所	10
11 / 20 (土)	ウイングタウン岡崎	0
11 / 22 (月)	第一生命保険株式会社小牧中央・小牧営業オフィス	19
11 / 28 (日)	アビタ新守山店	1

「Hospital Of Miracle」決起集会にて講演 名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校では毎年、骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「Hospital Of Miracle」を開催しています。昨年はコロナ感染症拡大の影響で『Hospital Of Miracle』の公演は叶いませんでしたが、2021年度は公演を行う方向で稽古がスタートし決起集会も行われました。学生さんたちはお稽古を始めるにあたり、本番を迎えるにあたり、骨髄バンクの事や病気の事、移植の事などの知識を持ち、モチベーションをあげていきます。7月9日(金)、ドナー体験者さんにもご同行いただき、骨髄バンクについて、移植について、骨髄バンクの現状や課題などお話し、ドナー体験者さんには登録の際のお気持ちから提供に至るまで、現在のお気持ちなどお話しいただきました。

先生からは「1年間のブランクがありますが、前回よりも、より命の尊さを伝えられるよう学生たちと作り上げていきます」とのメッセージをいただきました。しかし、コロナ感染症がますます拡大、10月16日(土)・17日(日)、アートピアホールにて開催予定だった公演は延期となってしまいました。今は2月の公演に向かってお稽古に励んでいることと思います。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校主催の開校が平成14年、ミュージカルは開校1年前から名古屋で開催されてきました。公演時募金活動を行い、日本骨髄バンクにご寄付いただいています。長きにわたりご支援いただいていること、感謝の気持ちで一杯です。そして、今から2月の公演が楽しみです。



「2021中部ウォークソン寄付金目録贈呈式」に出席

11月2日(火)、名古屋国際学園にて今年5月に開催された「2021中部ウォークソン」の寄付金目録贈呈式が開催されました。今年は25万円のご寄付をいただくことができました。いただきましたご寄付はオンライン環境整備に使わせていただきます。コロナ禍、オンライン活動が多くなり、活動がスムーズに出来るよう整備したいと考えています。

今年の贈呈式もコロナ感染対策がしっかりされた会場で開催され、安心して出席することができました。今年も受付から会場座席までのご案内、司会を名古屋国際学園の学生さんが行いました。学生さんの積極的なボランティア活動への取組みも感じる事が出来ました。毎年多くの方からのご協力、ご支援でたくさんのご寄付をいただいています。昨年と今年はオンライン開催でしたが、来年度は皆さまとお会いしてのウォークソン開催を切に願っています。



寄付者名簿 ～多くの方のご協力で深く感謝申し上げます～ 2021年7月～11月 敬称略・順不同

月	寄付者氏名・団体名	金額	月	寄付者氏名・団体名	金額	月	寄付者氏名・団体名	金額	
7	シゲタカズハル	130,000	8	大浦幸一	10,000	9	金子岳司	5,000	
	東海ろうきんNPO寄付システム	46,300		釘貫由美子	20,000		東海ろうきんNPO寄付システム	37,100	
	金澤信哉	10,000		水谷久美	9,620		匿名	25,000	
	大脇健司	20,000		朝比奈邦子	5,000		10	原馬公子	50,000
	岡田春枝	10,000		東海ろうきんNPO寄付システム	37,100		楠本茂	10,000	
	遠藤脩子	30,000		磯貝弘	3,000		東海ろうきんNPO寄付システム	37,100	
	妹尾浩和	10,000		山下和重	10,000		中神立善	5,000	
	鈴木敏生	10,000		山田重子	30,000		11	加藤武彦	10,000
	小栗利朗	10,000		三品雅義	30,000		東海ろうきんNPO寄付システム	37,300	
	島内貴子	3,000		CBCラジオ「つボイノリオの聞けば聞くほど」	16,300		中部ウォーカーズ	250,000	
	匿名	5,000		9	加藤千夏		10,000		
	鈴木剛	3,000			鶴飼孝一		10,000		

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン

マックスバリュ太閤店	2021年3月～2021年8月	17,500円
------------	-----------------	---------

※プリンター用インク、コピー用紙他事務用品、衛生用品などの購入に活用させていただきました。

イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーンとは

毎月11日の「イオン・デー」に、実施している「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、お客さまがレジ精算時に受け取った黄色いレシートを地域のボランティア団体名が書かれた店内備え付けのBOXに投函していただくことで、レシート合計の1%分の品物をイオンが各団体に寄贈する取り組みです。(イオンHPから)

小島プレス工業(株)登録会報告

7月5日(月)、小島プレス工業(株)本社にて開催の献血併行型ドナー登録会に参加してきました。毎年、高岡工場、黒笹技術センターの3カ所で開催していますが、今年は本社と高岡工場の開催となりました。ご登録いただいた女性の登録のきっかけは、妹さんが骨髄バンクからの移植でお元気になられたとの事でした。とても嬉しかったです。活動をしていると様々なエピソードが届きます、様々なおおいを届けて下さいます。私たちボランティアの活動の原動力となります。

小島プレス工業(株)でのドナー登録会は今年で20回目、2001年、労働組合40周年の記念事業として始まりました。2002年にはドナー休暇制度も導入、提供しやすい環境の整備にもご尽力いただき感謝の気持ちでいっぱいです。



献血併行型ドナー登録会

ザ・グランドティアラール宮・びさいまつり

8月25日(水)、ザ・グランドティアラール宮にて、一宮ライオンズクラブ主催の献血併行型ドナー登録会が開催されました。一昨年、昨年に続いての開催です。感染者拡大の中、どのような広報を行ったらよいか、リーフレットやティッシュの手渡しが出来ない中、いろいろ工夫しました。まずは「本日、ドナー登録が可能」をPRしなければ…。骨髄バンク作製の「本日登録できます」という三角柱のポップの新しい啓発資材をライオンズクラブメンバー用の献血受付に設置し、「キティティッシュ」もご自身で取っていただくことにしました。「今日は骨髄バンクのドナー登録が出来ます」とライオンズメンバーから伝えていただきました。

10月23日(土)、一宮中ライオンズクラブ主催、24日(日)、一宮サウスライオンズクラブ主催のドナー登録会が一宮市尾西庁舎・びさいまつり会場で行われました。両日もまつりの来場者は多く、たくさんの方に献血もご協力いただけました。屋外の開催とはいえ、コロナ禍での開催、少し不安もありましたが、まつり会場入場の段階から徹底した感染予防対策(住所、氏名、電話番号の記載、腕に入場手続き完了の目印を装着)、例年より少なめのブース出店、会場内では飲食禁止、飲食禁止のアナウンスは頻繁、各所にアルコール消毒設置、ブース出店、献血など呼び込みは禁止等々、様々な工夫がされた会場で安心して活動が出来ました。

コロナ禍、どこの会場でも十分な広報活動ができませんが、いろいろ工夫をしながらひとりでも多くの方にご登録いただけるよう活動を続けていなければと改めて思いました。



ザ・グランドティアラール宮での登録会

なごやNPO応援チャリティイベント

リレーマラソン2021が11月27日(土)、庄内緑地公園にて開催されました。昨年はコロナ禍、中止となった名古屋市主催のリレーマラソンですが、今年は開催することができました。

久々のリアルイベント、楽しみにして出かけてきました。前日から「明日から寒くなります」と報道されていましたが、集合時間の8時30分はそれほどでもなく準備をすることが出来ました。(暫くすると突風が吹くようなお天気になってきましたが…)

今年のブース出展は5団体が参加、会場には各団体90センチ幅の机とパネル版が設置されていました。ポスターを貼り、ハローキティーののぼりを設置、チャンスやティッシュ、募金箱も設置して活動開始。マラソンの受付が9時開始ということで、受付を済ませたランナーさんにティッシュなどを配布させていただきました。

このイベントはリレーに参加される方が応援したい団体に投票することで、投票数が寄附に変わります「骨髄バンクを応援して下さい」と多くの方に声掛け、今回は多くの方から「ドナー提供ってどんな事するの?」との質問もありました。丁寧に提供について説明させていただき、移植の事もお話させていただきました。血液型の違うドナーさんから提供いただく患者さんは血液型がわかり、ドナーさんと同じになるという話には皆さまビックリ、それだけ大変な治療だということもお話させていただきました。

スタンプラリーも行われ、各団体からはクイズを出し、答えていただいた方にスタンプを押します。当会のクイズは「血液はどこで造られているか?」。答えは3択で①心臓、②肺、③骨の中、なかなか答えられる方はいなくて、参加者とのやりとり、楽しかったです。

開会式では団体PR時間も設けられ、閉会式後は集合写真撮影。応援したり、広報したり、久しぶりにお会いする方々とのおしゃべりしたりと楽しい一日を過ごすことが出来ました。



コロナ禍での「語りべ」活動

プルデンシャル生命保険(株)名古屋第6支社

11月18日(木)、プルデンシャル生命保険(株)名古屋第6支社にて語りべ活動に行ってきました。患者さんにご同行いただき、朝礼時にお話を聞いていただきました。会議室には職員の方が2名と私たちの4名。皆様とはオンラインで繋がり、前半は私から骨髄バンクについて、移植についてなどお話をさせていただき、後半は患者さんより発病から現在のお気持ちなどお話をいただきました。患者さんのお話は心に響きます。画面越しの職員の方々も真剣に聞いていました。講演終了後、担当の方から届いたメールには、午後から献血ルームで登録してきましたとの報告がありました。語りべ活動がドナー登録に繋がる、活動の積み重ねの大切さを改めて感じた一日でした。



プルデンシャル生命保険(株)でのWEB講演会

西尾市立看護専門学校、公立西知多看護専門学校

8月26日(木)、西尾市立看護専門学校、11月12日(金)、公立西知多看護専門学校にて語りべ活動を行いました。両校とも今年度は教室で学生さんに直接お話を聞いていただくことが出来ました。いずれも患者さんにご同行いただき、骨髄バンクの事や患者さんのお気持ちなどをお伝えしました。

西尾市立看護専門学校では毎年、3年生の学生さんに話を聞いていただきます。保健所にもご同行いただき、骨髄バンクのDVD視聴後説明を行います。語りべ終了後は登録希望者の受付を行い、献血とドナー登録にご協力いただきます。今年の登録者数は11名でした。

公立西知多看護専門学校での活動は昨年はコロナ感染症の影響で中止、今年もご依頼を受けたころの様子では開催が危ぶまれていましたが、感染者も減り何とか開催することが出来ました。例年は献血開催日に近い日程で開催していましたが、今年は献血は既に終了、登録については献血ルームなどに出向いていただくようお願いしてきました。



西尾市立看護専門学校



公立西知多看護専門学校

第一生命保険株式会社での取り組み

第一生命保険株式会社が骨髄バンクの支援をスタート

骨髄バンクと第一生命保険株式会社中部マーケット統括部は、骨髄バンク事業推進に関してパートナーシップ協定を締結しました。これにより、第一生命保険株式会社中部総局管轄地域において骨髄バンクへの支援がスタートしています。内容は、営業員の方々による骨髄バンクのリーフレットやチラシ配布、営業オフィスでのポスター掲示、社内外での語りべ講演会の開催などです。連携と協働により普及啓発活動が広がり、ドナー登録の推進につながっていくことが期待されます。〔MONTHLY JMDP〕2021年8月13日発行より

第一生命保険(株)中京総合支社新野並営業オフィス

6月下旬、第一生命保険(株)中京総合支社新野並営業オフィス長より「地域課題解決に向け、自治体やパートナー企業等と連携、協働しながら地域の活性化や人々のQOL向上への貢献に取り組んでおり、新野並営業オフィスでもなにかできることはないかと考えている。骨髄バンクについて、提供ドナーについてなど正確な知識を知り、伝えることでドナー登録者を増やすことに少しでも貢献することができたら少なからず助かる人もいるのではないかと考えた。そのためにはあまりにも知識がないため、色々教えていただきたい」とのメールをいただきました。早速、オフィスに出向きご挨拶。積極的な取り組みについて伺うことが出来ました。まずは、骨髄バンク、移植、提供について知っていただき、出来れば患者さんや提供者のお話も聞いていただきたい旨、お伝えしました。朝礼時に45分のお時間をいただき、7月27日(火)に病気の事、骨髄バンク、移植、提供などお話をさせていただき、8月3日(火)は提供者の体験談、8月24(火)は患者さんのお話と3日間に渡りお伝えすることが出来ました。オフィスには毎回、10名前後の方が参加、他の方はリモートで参加くださいました。毎回、皆様とても真剣にお話を聞いて下さり、多くの質問もありました。

語りべ終了後、他のオフィスにも出向くことは可能かとのお問い合わせもいただきました。活動が広がっていくことを願いながらオフィスを後にしました。

以下、参加いただいたドナー体験者の報告です。

私はドナーの経験者として、ドナー登録をした経緯、適合通知が届いた時の家族とのやりとり、ドナーに選定されてから提供当日・提供後の気持ちや自分の心境の変化についてお話をさせていただきました。また実際にドナーとなるためには、ドナー本人や家族だけでなく、職場や社会の理解も併せて必要なこともお話ししました。皆様に自分の経験や気持ちを伝えることで、新たな気づきがあったり、提供した当時は緊張と不安で考える余裕もなかった自分の想いを、振り返るいい機会にもなりました。私のつたない話でしたが、話を聞いて下さった皆様からいくつか質問もあり真剣に話を聞いてくださっているのを感じました。 安井佐智子

第一生命保険(株)名古屋東支社での「語りべ」

新野並営業オフィスでの3回の語りべが未だ終えない中、第一生命保険株式会社名古屋支社より語りべの依頼をいただき、9月15日(水)、名古屋東支社にお伺いしてきました。大きな会議室で会場には5名の方が参加下さり、パソコンの前で講演。画面の向こうには約80名の方が参加されているとの事でした。約1時間の講演、この日はドナーさんや患者さんのご都合がつかず私から患者さんやドナーさんのお話もさせていただきました。終了後は会場内の方とゆっくりお話しすることも出来ました。オンラインでの活動が多くなっていますが、チョッとだけパソコンやカメラに向かって話すことにも慣れてきました。

「大変考えさせられるお話で、少しでも患者様のお役に立てればと思っている。今後小牧の営業オフィスと名古屋東支社で献血を行い、希望者に骨髄バンクの登録を予定している」との連絡をいただきました。また、1名でも多く登録者が増えるよう今後も活動を推進していきますとの言葉もいただきました。確実に広がりつつある企業内での活動。感謝の気持ちで一杯です。



新野並営業オフィスでの講演会



小牧中央・小牧営業オフィスでの登録会



名古屋東支社での講演会

第一生命保険(株)名古屋東支社での「ドナー登録会」

10月に入り、9月15日(水)に第一生命保険(株)名古屋東支社で行われた「語りべ」を受けて先方より献血とドナー登録の開催の申し出があり献血併行型ドナー登録会が実現しました。お申し出があったのは小牧中央・小牧営業オフィスと名古屋東支社の2カ所、小牧中央・小牧営業オフィスは昨年にも献血は実施いただいたとの事でした。東支社については献血も初めての開催との事でした。(12月開催予定)

小牧の営業所での登録会は朝から本降り、小牧営業所以外(春日井営業所、一宮営業所)から献血にいらっしゃる方や顧客の方々が営業所内は一日中にぎやかでした。献血、ドナー登録担当の職員さんが献血者にドナー登録を呼びかけて下さいました。複数で説明を聞いていただけた場面も多くありました。所轄の春日井保健所職員と途切れることなく説明を行い、25名に説明、19名の方にご登録いただくことが出来ました。久々の登録会と多くの方への説明で、心地よい疲れを感じながら帰路につく事ができました。12月には名古屋東支社での登録会と第一生命保険(株)マーケット統括部での講演会も予定しています。骨髄バンク支援が広がっていること、嬉しく思います。

MONTHLY JMDP R3.12.15 jmdp.or.jp/about_us/publishing/monthlyreport.html

日本骨髄バンクの現状(2021年11月末現在)

	10月	11月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,984	3,254	538,163	877,299
患者登録者数	196	216	1,714	63,138
移植例数	97(28)	104(22)	—	26,122(1,425)

※()内は末梢血細胞移植の実施数(国際間含む)

- 11月年代別ドナー登録者数(現在数)
 10代 2,920人
 20代 84,745人
 30代 136,732人
 40代 221,921人
 50代 91,845人
- 11月の20歳未満の登録者/319人

- 11月の区分別ドナー登録者数: 献血ルーム/1,029人、献血併行型集団登録会/2,121人、集団登録会/49人、その他/55人
- 11月末までの末梢血幹細胞移植(PBSCT)累計数: 1,378件(国内ドナー⇒国内患者) 注) 数値は速報値のため訂正されることがあります。

愛知県	血液センター登録数			移植例数 26,122例、採取数 26,147例			
	11月登録者数	11月取消数	累計	患者居住地	移植数	提供者居住地	採取数
	117	89	21,778	1,566	2,185	1,554	1,883

※採取されたものの移植に至らなかったケース13例と翌月移植予定12件が含まれているため移植数と採取数は一致しません。

ポスター、クリアファイル完成

あいちの会NEWS41号でお知らせしました、名古屋市立工芸高等学校の生徒さん制作のポスターとクリアファイルが完成、すでに配布が始まっています。名古屋市立工芸高等学校、グラフィックアート科3年生の生徒さんは社会貢献活動として毎年、名古屋市からの依頼でポスターやクリアファイルのデザインをしています。制作前に骨髄バンクの事や患者さん、ドナーさんのお話を聞いていただき作品を仕上げます。今年も素敵な作品が出来ました。ポスターは優しいピンクが基調、クリアファイルは斬新な作品となっています。作品は献血ルームゲートタワー26にて披露されました。また、名古屋市から感謝状と記念品も贈呈されました。若い方々が得意とする分野で骨髄バンクに関わって下さること、本当にうれしく思います。



ポスター



クリアファイル(表)



クリアファイル(裏)

事務局だより

夏頃はコロナ感染第5波で不安な日々を過ごしていましたが、ここ最近は感染者数が激減し活動も少しずつではありますが行うことが出来るようになりました。広報活動もリアル開催が出来、「久しぶり〜、げんき〜?」が挨拶の始まり。対面でのイベントが当たり前だと思っていたが実は当たり前ではなかった。人とのコミュニケーションの大切さを学んだ2年でした。人と会って話をするって本当に素敵な事ですね。これからも感染対策をしっかり行い、一日も早く皆様とお会いできる事を楽しみにしています。

水谷久美

あいちの会のHPが一新しました。是非お立ち寄りください。 URL: aichinokai.or.jp

ご寄付のお願い

あいち骨髄バンクを支援する会の活動は皆様の善意に支えられています。いただきましたご寄付は骨髄バンクドナー登録の拡大のため、また血液難病の患者さんやそのご家族のお力になれますよう、大切にさせていただきます。ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

寄付受付

一般寄付

この会の趣旨に賛同し、継続的にご寄付をしていただける個人、企業及び団体。

賛助会員

※企業及び団体 一口30,000円/年
 ※個人 一口10,000円/年

ボランティアについて

ボランティア会員

この会の趣旨に賛同し、運営や活動に直接関わっていただける方。(会費無料)会報や活動報告、イベント案内、骨髄バンクの情報などをお送り致します。



銀行口座
 三菱UFJ銀行
 金山支店 普通3654780

郵便振替口座
 00890-0-76637

あいち骨髄バンクを支援する会は、名古屋市より「認定特定非営利活動法人(認定NPO)」として認められました。これにより、2016年2月2日より当NPOにご寄付頂ける個人・法人の皆さまは、寄付金控除の税法上の優遇措置を受けることが出来るようになりました。(所得税・相続税)

認定特定非営利活動法人
あいち骨髄バンクを支援する会